

就カシムル如ク沿岸防備ヲ強化スル爲之ヲ第五十五師團ニ配屬セリ
海上輸送第三大隊ハ轉進後暫時ニシテ方面軍ニ直轄セラレタリ

第五章

「アラカン」山系以西方面ニ於ケル第五十四師團ノ作戰（昭一九、

一二、下旬—昭二〇、四、下旬）

「附圖第六第九參照」

第一節

作戰開始迄ニ於ケル第五十四師團ノ狀況

一完作戰計畫策定ニ伴フ第五十四師團ノ配備變更

昭和十九年乾季間同師團ノ概ネ左記態勢ニ在リ

左記

「アキヤブ」地區 歩兵三大隊砲兵一大隊基幹

「ラムレ」地區 同 右

「チエドバ」地區 歩兵二大隊砲兵一中隊基幹

「ミエボン」地區 搜索第五十四聯隊主力

爾餘ノ部隊 「タウンガツ」附近

師團司令部ハ二月迄「モウダン」ニ在リシガ二月下旬「ギヤグ」

ニ前進ス又歩兵一大隊ヲ四月下旬「ウ」號主作戰方面ニ轉用ス

0736

右ノ態勢ニ在リテ海正面ニ對スル防衛ヲ強化中ナリシガ七月中旬迄
作戰計畫ノ策定ニ伴ヒ軍ハ第五十四師團ニ對シ配備ノ重點ヲ陸正面
ニ保持シ「ミエボン」附近ヨリ「ダマンド」附近ニ亘ル縱深要域ニ
於テ來攻スル敵ヲ拒止撃摧スルト共ニ「ラムレ」島「チエドバ」島
ハ成ルベク永ク之ヲ保持スル如ク命令スルト共ニ有力ナル一部ヲ以
テ櫻支隊ノ作戰ニ連繫シテ敵ノ前進遲滞ニ任ゼシム

右ニ基キ第五十四師團ハ第五十五師團主力ノ轉進ト併行シツ、配備
變更ニ着手シ十月上旬頃迄ニ概ネ新配備ニ就ケリ
新配備ノ大要附圖第六ノ如シ

「ラムレ」「チエドバ」兩島配備變更ノ経緯ニ關シテハ後述ス

第二節 作戰ノ經過

其ノ一 前進部隊（松支隊）ノ作戰

一軍ノ部署セル櫻支隊松支隊相互ノ作戰要領ノ調整

櫻支隊主力ノ撤收ト森「アキヤブ」島松支隊ノ歩兵一大隊ノ撤收並
ニ騎兵第五十五聯隊ノ作戰ト松支隊主力トノ作戰ハ極メテ緊密ニ相
互ノ關係ヲ律スルヲ要シ特ニ在「アキヤブ」島部隊ノ撤收ハ水路ニ

依ラザルベカラザル困難性ヲ伴フベキ特色アリ十一月月中旬相互ノ作
戰要領ニ關シ大要左ノ如ク部署スル所アリタリ

左記

松支隊主力ハ「カラダン」河以東ノ地域ニ於テ櫻支隊主力ノ撤收ヲ
收容ス

「カラダン」河以西ニ於ケル撤收ハ櫻支隊自体ニ於テ部署スルモノ
トス

ニ在「アキヤブ」島部隊ハ櫻支隊主力「マユ」平地ヨリ撤退ヤバ適時
自主的ニ撤收ス

櫻支隊主力「マユ」平地ヨリノ撤收ニ先立テ海正面ヨリ敵ノ來攻
ヲ受ケタル場合ニ在リテ歩々ノ抵抗ニヨリ其ノ前進ヲ遲滞ヤシメツ
、先ヅ「ボンナダン」附近ニ後退シ該地附近ノ地形ヲ利用シ櫻支隊
ノ左側ヲ掩護スルト共ニ敵ノ水路ニヨル「カラダン」河上流地區ニ
對スル進入ヲ阻止ス

同部隊爾後ノ行動ハ當時ノ狀況ニヨリ之ヲ定ム
在「アキヤブ」島部隊ノ撤收

櫻支隊ノ「マユ」平地ヨリノ撤收ニ伴ヒ敵ノ一部ハ「マユ」河兩岸ニ沿フ地區竝ニ水路ヲ利用シテ南下シ十二月末「アキヤブ」島北端附近及「アレチヤン」附近ニ一部ノ敵上陸シ來リ大隊ハ「アキヤブ」島ヲ後方ヨリ遮斷セラル、ノ狀況トナリタルヲ以テ北端ニ於ケル反撃ノ機ヲ利用シ一部ヲ殘置シ主力ハ二十八日轉進行動ニ就キ三十日「ボンナグン」ニ集結ス

同地ニ於テ兵力ヲ集結掌握シ「カラダン」河ヲ渡河シテ「ミヨホン」方向ニ後退シ支隊主力ニ合セントセシモ河上ヨリ敵ノ妨害ヲ受ケ且北方ヨリスル敵ノ南下ニ會シ孤立困難ナル狀況ニ逢着セシモ各種ノ手段ヲ盡シテ渡河ヲ強行シ部隊相當ニ分散シ一月中旬末ニ至リ漸ク「ミヨホン」附近及「ミンビヤ」附近ニ其ノ兵力ヲ掌握セリ

三 松支隊主力ノ作戰

北部「カラダン」平地ニ於ケル十二月下旬迄ノ作戰ニ關シテハ前章ニ記述セルガ如シ

十二月下旬來「ミヨホン」東北方地區ニ進出ヤシ敵ノ行動ハ活潑ナラズ櫻支隊ノ諸隊ハ其ノ掩護下ニ一月四日乃至六日ノ間「ミヨホン」

0739

南方ノ集結地ヲ發シ轉進行動ニ成ケリ
斯カル中「アキヤブ」ニ進入セシ敵ノ一部ハ一月上旬末頃水路ヲ利
用シ「ミンビヤ」(「ミヨホン」南方二〇軒)附近ニ進出ス同地南
側ニハ後送未完ノ軍需品集積地アリ且同地ヲ敵手ニ委ヤバ支隊南下
ハ著シキ制肘ヲ受クベキ要點ナリ
該地ニアリシ一小隊ハ反撃之ヲ蒙退セシメ敵ハ再三同地ニ上陸ヲ企
圖ス支隊長ハ一部兵力ノ増強シテ同地ヲ確保ス
斯カル約一月十二日戰車ヲ伴フ印膠第二十五師團ノ約一旅團ハ「ミ
エボン」半島南端附近ニ對シ艦砲射撃竝ニ織烈ナル爆撃ニ護セラ
レテ上陸ニ成功シ同地ニ在リシ搜索第五十四聯隊ヲ壓迫ス
「ミエボン」附近ノ敵ハ引續キ兵力ヲ増強シテ上陸戰鬥ヲ反覆シ終
ニ同地附近一角ヲ占據ス師團長ハ右諸狀況ニ鑑ミ遂ニ「カンゴウ」
附近主陣地ノ線ニ於テ敵ヲ反撃スルニ決シ松支隊ノ撤收ヲ命シ軍司
令官亦之ヲ是認セリ
松支隊主力ハ一月二十四日「ミヨホン」附近ノ配備ヲ撤シ「レムロ」
河左岸ヲ經テ主陣地ニ歸還セリ

其ノ二 「ミエボン」半島及「カンゴウ」附近主陣地帯ニ於ケル

戦闘

一 「ミエボン」半島ノ戦闘

「ミエボン」半島ハ「アキヤブ」島以南ニ於ケル上陸適地ニシテ同地ノ配備及戦闘要領ニ關シテハ師團ニ於テ豫テヨリ研究準備セル所ナリシヲ配備兵力ハ當時搜索第五十四聯隊ノ二中隊基幹部隊ニ過ギズ前進ノ如ク一月十二日敵ノ上陸ヲ邀ハ第一線部隊ハ「ミエボン」北側ノ準備セル陣地線ニヨリ敵ヲ邀撃セシモ水際附近ニ於テ敵ニ相當ノ損害ヲ與ハタルモ兵力ノ寡小如何トモスルコト能ハズ逐次敵ノ壓迫ヲ受クルニ至ル師團亦之ニ對シ主陣地ヨリ一部増援ノ措置ヲ講ゼルモ戦況好展セズ

二 「カンゴウ」附近主陣地帯ノ戦闘

一月二十五日敵ハ更ニ主陣地ノ左翼側タル「カンゴウ」西側ニ上陸シ來リ主陣地帯ニ於テハ側面ヨリ戦闘ヲ惹起スルニ至レリ爾後師團ハ松支隊主力ノ來着ヲ待チ歩砲戦力ヲ統合シテ再三陣前ニ敵ヲ反撃セルモ陣地前ニ構成セル敵陣地ヲ容易ニ抜クコトヲ得ズ敵

亦北方及「ミエボン」半島ヨリ逐次兵力ヲ増強シテ主陣地帯ノ一角ニ進入シ戦闘激烈ヲ極ム

當時頃新タニ西阿第八十二師團ノ現出ヲ見ル

斯カル中敵ハ主陣地東方「アラカン」山系中ヲ我が配備ノ間隙ヲ利用シテ空中補給ヲ受ケツ、南下シ二月上旬「ダレ」河上流地區ニ現出ス

師團ハ右狀況竝ニ一月二十一日「フムレ」島ニ上陸セル敵ノ活動活潑ナルト「タマンド」附近南北ガ配備薄弱ニシテ同地附近ニ敵ノ上陸ヲ邀ハシカ爾後ノ作戰ハ著シク困難トナルベキヲ判断シ「カンゴウ」附近ノ陣地ヲ撤シ「ダレ」河右岸第二線陣地帯ニ態勢ヲ整理スルト共ニ「タマンド」以南海正面配備ヲ強化スルニ決シ部署スル所アリ

第一線部隊ハ二月十五日頃「カンゴウ」附近ノ陣地ヲ撤ス師團ハ一部ヲ以テ東方山系ニ進出セル敵ヲ反撃シツ、南下シ二月下旬新配備ニ就ケリ

本撤收ハ軍ノ企圖スルヨリ過早ニ實施セフレ軍ニ於テハ自今更ニ積

極的ニ作戰ヲ指導スル任等ニ關シ指導スル所アリタリ

其ノ三 「タマンド」附近第二線陣地帯ニ於ケル戰鬪

一木庭支隊ノ北方陣正面（エナンヂヨン方面）轉用

「エナンヂヨン」正面ニアリテハ二月上旬來全面的ニ交戦狀況ニ入り後述スル如キ狀況ニ基キ軍ハ狀況ニヨリ完二號作戰ヲ鼓動スベキ場合ヲ考慮シ豫定計畫ニ基キ歩兵團長木庭少將ノ指揮スル歩兵二大隊野砲兵一大隊（十榴）ヲ抽出シ「エナンヂヨン」正面ニ轉用スルニ決シ二月二十五日命令スル所アリ木庭支隊ハ二月二十八日頃來「ア
ン」附近ヲ出發シ轉進セリ

右ニヨリ「タマンド」附近陣地帯ノ配備ニ就キシハ歩兵約四大隊（「ウ」號主作戰ニ抽出轉用後十一月歸還セル戦力恢復未完ノ岩崎大隊「C4/54」ヲ含ム）搜索聯隊野砲兵聯隊「二大隊缺」野重一小隊

餘部隊トス

ニ「タマンド」附近陣地線ニ於ケル戰鬪經過

「カンゴウ」附近ノ敵西阿軍ハ我ガ後退ニ臂接シテ南下スルト共ニ錯綜セル沿岸水路ヲ利用シ横滑リ滲透的ニ沿岸ノ要地ニ上陸シ來リ

三月上旬「タマンド」南側次イデ「ドカン」附近ニ上陸シ同地附近ニ橋頭堡ヲ構成ス
東方山系中ヲ滲透的ニ南下セル敵ハ我適時ノ反撃ニ依リ「ダレ」河右岸ニ停止セル以後其ノ行動活潑ナラズ
橋頭堡陣地ハ歩砲兵ヲ擧ゲテ實施セル我數次ノ反撃ニモ拘ラズ逐次其ノ地歩ヲ擴大シ時ニ「ドカン」南方ノ橋頭堡ハ逐次兵力ヲ增強シテ三月中旬約一大隊ノ敵ハ我方配備ノ間隙ヲ滲透シテ同東方山系ニ進出シ來リ「タマンドウ」―「アン」―軍道ノ交通ヲ遮断ヤントスルノ企圖變化ス帥團ハ各方面ヨリ抽出セル約二大隊ノ兵力ヲ以テ此ノ敵ヲ反撃セルモ密林中ニ戦闘ヲ惹起シ成果全カラズ
其ノ一部ハ終ニ帥團司令部西南方附近ニアリシ砲兵中隊陣地ニ肉薄シ軍道ヲ遮断ス帥團ハ各種ノ攻撃手段ヲ盡シテ此ノ敵ヲ擊攘ス
既ニ南方沿岸ニ敵ノ上陸ヲ許シタル狀況ニ於テ廣正面ニ亘ル現職線ニ於テ作戰ヲ繼續スルハ著シク不利トナリタルヲ以テ早ノ指導ニ基キ一月上旬來準備ヤシ「アン」―東方地區―「アラカン」―山系西側既設陣地線ニ態勢ヲ整理スルニ決シ帥團ノ諸隊ハ四月上旬同陣地線ノ配

0744

備ニ就ケリ

其ノ四

「ラムレー」島及「タウンガツン」方面ノ戰

「ラムレー」島ノ戰圖

圖

(1) 作戰開始迄ノ間ニ於ケル向島配備兵力變更ノ経緯

昭和十九年雨季入迄ノ間向島ハ甲地域トシテ其ノ防備ヲ重視シ歩
 兵一ヶ聯隊野砲兵一大隊基幹部隊ヲ配備シテ築城其ノ防備施設ヲ
 強化シアリシガ新作戰計畫ノ立案ニ伴ヒ向島ハ持久地帯トシテ敵
 ニ航空基地ヲ與ハザルコトヲ王服トシ成ルベク永ク向島ヲ保持ス
 ル如ク方針ヲ變更セリ即チ雨季入後向島ノ配備ヲ歩兵一大隊(III/121)
 ニ減小スルト共ニ「チエドバ」島ニアリシ歩兵一聯隊(一大隊)
 ヲ撤收シテ第五十四師團陸正面ヲ強化セリ
 軍トシテハ方面軍ガ「ウ」號作戰ノ中止ニ伴ヒ「アキヤブ」放棄
 ヲ決心セル以上「ラムレー」島ノ航空基地トシテノ價値ハ五十歩百
 歩ニシテ同島ニハ單ニ輕易ナル監視線ヲ構成スルヲ王義トシ歩兵
 一中隊程度ヲ配備セシムル腹案ナリシモ方面軍ニ於テハ當初極力

III/121
 II/121
 猪股大佐

之ヲ持久スベキ意圖アリ七月實施セル作戰研究會ニ於テモ一議題トナリシガ同島ノ海正面ハ一〇〇軒ニ及ビ「アキヤブ」ヲ放棄セル以後極力之ヲ持久スル爲ニハ歩兵一聯隊ヲ配備セサレバ其ノ期待ハ過望ナリトノ軍ノ見解ナリキ爾後若干ノ經緯ヲ經テ第五十四師團ノ擔任正面トモ勘案シ「チエドバ」島ヲ含ム同島ニハ歩兵一大隊ヲ配備スルコト、ナリ爾餘ノ聯隊主力ハ之ヲ「タウンガツ」附近ニ配置シ同地附近ノ配備ヲ強化セシムルコトトセリ

(2) 戰鬪經過ノ概要

一月三十一日早朝印度第二十六師團ハ「ラムレ」島北端「キヤクピユ」西北方海岸ニ對シ熾烈ナル砲爆撃ニ捲き「フレ」上陸シ來ル同地ニアリシ歩兵小隊ハ火炮射撃（鹵獲砲）ト相俟テ水際附近ニ於テ敵ニ相當ノ損害ヲ與ヘタル後敵ノ前進ヲ拒止シツ、逐次「ヤンボーク」一「クリーク」方回ニ南下セリ
此ノ間克ク遊撃戰法ニヨリ敵ノ行動ヲ妨害ス大隊長ハ「ヤンボーク」南側最も堅固ニ構築セフレアル舊主陣地（複廊的ニ構成シアリ）ヲ利用シテ敵ヲ反撃スルニ決シ準備スル所アリ

0746

二月上旬一部ノ敵ハ「テエドバー島ニ對シ熾烈ナル艦砲射撃及爆撃ノ後上陸シ（當時向島ニ將校斥候一組アリシノミ）其ノ一部ハ「ラムレー島南端附近ニ上陸シ來リ「タウンガツブ」ヨリ南方ニ進出スル水路ヲ掘スルニ至ル大隊長ハ同方面ニ配備シアリシ一中隊ヲ以テ之ヲ反撃シツ、大隊主力ニ合スル如ク指導スルト共ニ「ヤンボーク」河ヲ渡河進出スル有力ナル敵ニ對シ渡河ノ好機ノ捕捉適時之ヲ反撃北方ニ擊退セルモ爾後敵ハ逐次「ラムレー」方向ニ溢出シ來ル茲ニ於テ大隊長ハ「ラムレー」周邊複廊陣地ニ兵力ヲ掌握スルニ努メツ、敵ノ反撃ニ努ム

師團ハ右狀沈ニ續ク二月十日頃向島ヨリノ敵收ヲ命ズ然ルニ向島以東ハ水路錯綜セル「マングローブ」地帯ニシテ當時敵ハ既ニ「キヤクピユ」ノ基地ヲ強化シテ砲艇ヲ配置シテ我逸出ヲ晝夜ニ亘リ警戒シアリ

航空部隊ノ一部協力ヲ待テ二月十八日夜間「ラムレー」東北方「ミソガン」河ノ隱密渡河ヲ取行セルモ敵ノ發見スル所トナリ相當ノ損害ヲ生ズ同日以後同大隊ノ無線連絡杜絶シ向島ニ於ケル狀況ノ

詳細不明ナリシガ各隊ハ遂次脱出シテ「メイ」及「タンガツブ」附近到着セリ

向島ハ原住民ノ宣撫良好ナリシ爲克ク日本軍ノ戦闘ニ協力シ残存部隊ノ向島撤收ハ原住民ノ協力ニ與ル所大ナリ

ニ「タウングアツブ」附近ノ戦闘

(山) 向地附近及「サントウエイ」附近配備部隊ノ指揮系統ニ關スル経緯「タウングアツブ」ハ軍ノ水陸補給基地ニシテ防衛上ノ要地ナリシモ昭和十九年雨季入迄ノ間ニ於テハ「ラムレ」「チエドバ」島ノ配備ニヨリ掩護セフレアリテ基地直接警備ノ外防衛ノ爲兵力ヲ配置シアラザリシモ前述ノ如ク「ラムレ」島ニ對スル作戦方針ノ變更ニ伴ヒ向地附近及「サントウエイ」附近「ブローム」ニ連ズル作戦路ノ確保ノ爲重要ナル意義ヲ有スルニ至レリ而シテ「タウングアツブ」及「サントウエイ」ハ防衛上相關聯スル地點ナルモ第五十四師團ノ作戦地域ニ「サントウエイ」ヲ含マシムルハ真正面ヲ有スル向師團トシテ正固著シク過廣トナルヲ以テ「サントウエイ」附近ハ依然第五十五師團作戦地域ニ含マシムルコトトシ戰

團ノ生起ニ方リテハ同方面ノ状況ニヨリ一括シテ軍直轄トシテ作
戦ヲ指導スル腹案ナリキ

然レドモ第五十四師團作戰開始後其ノ切ナル要望ニヨリ「タウン
ガツプ」附近配備部隊ハ依然第五十四師團ノ指揮下ニアフシメタ
リ

(2) 作戰經過ノ概要

「タウンガツプ」附近ノ防衛ニ任シアリタルハ歩兵第百二十一師
團(一大隊)騎兵一中隊(輕裝甲七輛)野砲兵二中隊基幹部隊ナ
リ第五十四師團主力方面ニ於ケル作戰ノ經過前述セル如クニシテ
敵ハ沿岸方面ニ逐次地歩ヲ擴張シテ三月中旬「メイ」附近ニ下旬
「ケンタンヂ」附近ニ上陸シ來リ其ノ兵力約一旅團ト判断セラル
部隊ハ各上陸點附近ニ於テ敵ヲ反撃サルモ成果全カフズ輕裝甲車
中隊亦「メイ」南方ニ於テ敵中戰車ト遭遇戦ヲ演ジテ全車破壊
ノ悲運ニ會ヘリ

爾後部隊ハ在「フムレ」部隊(同師團長ノ指揮下ニアリ)ノ收容
ヲ措置シツ、「タウンガツプ」周邊ニ準備セル陣地ニ兵力ヲ集結

シテ南下スル敵ヲ反撃シ又東方山地ニ迂回進出ヲ企圖セル敵ヲ機先ヲ制シテ適時擊攘スル等四月下旬ニ至ル間克ク同地附近ヲ確保シテ敵ニ大ナル出血ヲ強要セリ

本作戦間「フムレ」ニ地歩ヲ確保セル敵ガ「サンドウエイ」附近若ハ其ノ以南地域ニ上陸シ南北ヨリ戦果ヲ擴張シ來ルトキハ同聯隊ノ戦闘亦相當ノ困難ニ逢着スベキヲ豫想セラレタルモ幸ニシテ同地以南地域ニ敵ノ上陸ヲ見ルコトナカリキ

其ノ五

「アン」附近ニ於ケル第五十四師團主力ノ反撃作戦及同兵團ノ「アラカン」山系以來ヘノ轉用

下師團主力ノ反撃作戦

師團主力ハ四月四、五日頃迄ニ「アン」東側南北ノ線ニ於ケル陣地配備ヲ完了ス富田ニ進出シアル敵ハ西阿第八十二師團竝ニ印防第二十六師團ノ約二師團ナルコト判明ス

我戦線整理直後遂次「アン」西側附近ニ進出シ來レルモ其ノ行動活潑ナラズ

師團長ハ敵ノ態勢整理ノ機ヲ捕捉シテ敵ヲ反撃擊攘シ爾後ノ作戦ノ

自由ヲ確保スルニ決シ周到ナル計畫ノ下ニ四月九日ヲ期シテ富田ノ
敵ヲ反撃シテ「アン」西側附近ノ敵ヲ擊退シ一部ヲ以テ「タマンド」
西側附近ニ敵ヲ追撃ナス

斯クシテ西側第八十二師團主力ヲ前線戰況有ヨリニ進展シ戦場中
ナリシガ軍ハ後述スル北方陸正面ノ戰況急進展セルニ對ミ十四日連
カニ「アファンミヨウ」附近ニ向ヒ轉進ヲ謀始スベク命令シ師團ハ歩
兵第百五十四聯隊長ノ指揮スル歩兵二大道連隊部隊ヲ先遣隊トシテ
直ニ出發「アン」ー「ミンブ」道ヲ經テ「アファンミヨウ」ニ向ヒ急
進ヤシメ主力ハ歩兵約一大隊ヲ以テ主力ノ轉進ヲ掩護ヤシメツ、ア
ランミヨウ」ニ向ヒ急進ヤリ

ニ「タウンガツブ」方面部隊ノ轉進

同方面ニアリシ歩兵第百二十一聯隊（一大隊）ハ將來ノ作戰ヲ考慮
シ軍直轄トスルニ決シ速カニ「プローム」ー「タウンガツブ」道ニ沿
フ地區ノ後方ヲ處理スルト共ニ向部隊ヲ「プローム」ーヲ經テ「オツ
ボ」ニ向ヒ轉進ヤシムル如ク部署シ向部隊ハ四月二十日急進行動ニ
就キ「プローム」ー「タウンガツブ」道ニ沿ヒ三線ニ堅固ニ構築ヲ

完フシアリシ既設陣地ヲ利用シ一部ヲ以テ敵ノ自動車道ニヨル突進ヲ拒止シツ、先ヅ「プローム」ニ向ヒ轉進ヲ開始セリ

第六章 北方陸正面ノ作戰

第一節 「エナンデヨン」油田地帯配備増強ノ経緯

一 第四十九師團一部ノ配備ト其ノ配置

十月上旬舊時入緬中ナリシ第四十九師團ノ一部「歩兵第百五十三聯隊（一大隊缺）山砲兵一大隊（海没等ノ損耗ニヨリ山砲六門）工兵一中隊基幹」ヲ配屬セラル、ト共ニ「ミンブ」縣ヲ軍ノ作戰地域ニ編入セラル

軍ハ右部隊ヲ以テ一支隊ヲ編成（勝部隊ト呼稱ス）シ之ヲ「アフンミヨウ」附近ニ配置シテ阿地附近對空挺戰備ヲ強化ヤリ歩兵第百五十三聯隊ノ他ノ一大隊ハ方面軍直轄トシテ「エナンデヨン」ニ配置セラル

十一月下旬「エナンデヨン」縣ヲ更ニ軍ノ作戰地域ニ編入セフレ軍ハ向方面防備ノ重要性ニ鑑ミ同部隊ヲ「エナンデヨン」油田地帯ニ推派シ北方陸正面ニ對スル配備ヲ強化セリ